

循環器内科に入院されたことのある患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院循環器内科では、心臓の収縮が悪くないにもかかわらず起こった心不全(=拡張期心不全)のために入院された患者さんの疾患背景、検査結果、治療内容と将来のご病気の状態との関連についての調査・研究を多施設共同(事務局 国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 研究代表者 安斉 俊久)で実施しております。

[研究課題名] 本邦における拡張期心不全の実態に関する多施設共同調査研究

[研究の方法]

研究対象者：2013年2月から2015年3月まで当院循環器内科に拡張期心不全で入院された患者さん

研究期間：病院長による承認後から2017年3月まで

調査内容：患者さんの背景(年齢、性別、身長・体重、併存疾患、治療内容など)や検査所見(血液検査、心臓超音波検査、MRI検査、心臓カテーテル検査、血圧・脈拍)等の診療情報を診療録(カルテ)に基づき調査させていただきます。また、1年後、2年後の健康状態につきまして、カルテ調査、またはお電話、お手紙を差し上げて調査させていただきます。研究期間が終了した後も診療情報は保存し、将来他の疾患との比較に用いたりします。

[個人情報の取り扱い]

この調査では、診療情報を個人が特定できないように匿名化して集計、解析し、患者様の個人情報は厳重に保護し、取り扱いには十分に留意し、独立行政法人個人情報保護法に基づき適正に管理しております。またこの研究は、当院の自主臨床研究審査委員会で研究計画書の内容及び実施の適否等について、科学的及び倫理的な側面が審議され承認されています。対象に該当する患者さんで、疑問やご自身の診療情報の使用を希望されない方がおられましたら、研究分担者 絹川真太郎(内線 6973)までご連絡ください。ご連絡がない場合には、貴重な診療情報を本研究に使用させていただきます。

診療水準の向上のために、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

[問い合わせ先]

北海道大学病院 循環器内科

研究責任者 筒井 裕之

研究分担者 絹川 真太郎(内線 6973)